

- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましよう



# 向日市消防団消防訓練錬成会を開催 消防団員が消防技術を競う

最優秀分団に第5分団(上植野町)、優秀分団に第2分団(寺戸町)

消防団員の消防技術の向上と士気高揚を図るため、「向日市消防団消防訓練錬成会」が11月6日、第6向陽小学校グラウンドで開かれました。消防ポンプ車操法訓練では、6つの分団が約2か月間の訓練で磨き上げた技術を競い合いました。



▲「1秒でも早く」全速力でホースを延ばす



▲気持ちを一つにして訓練の成果を発揮

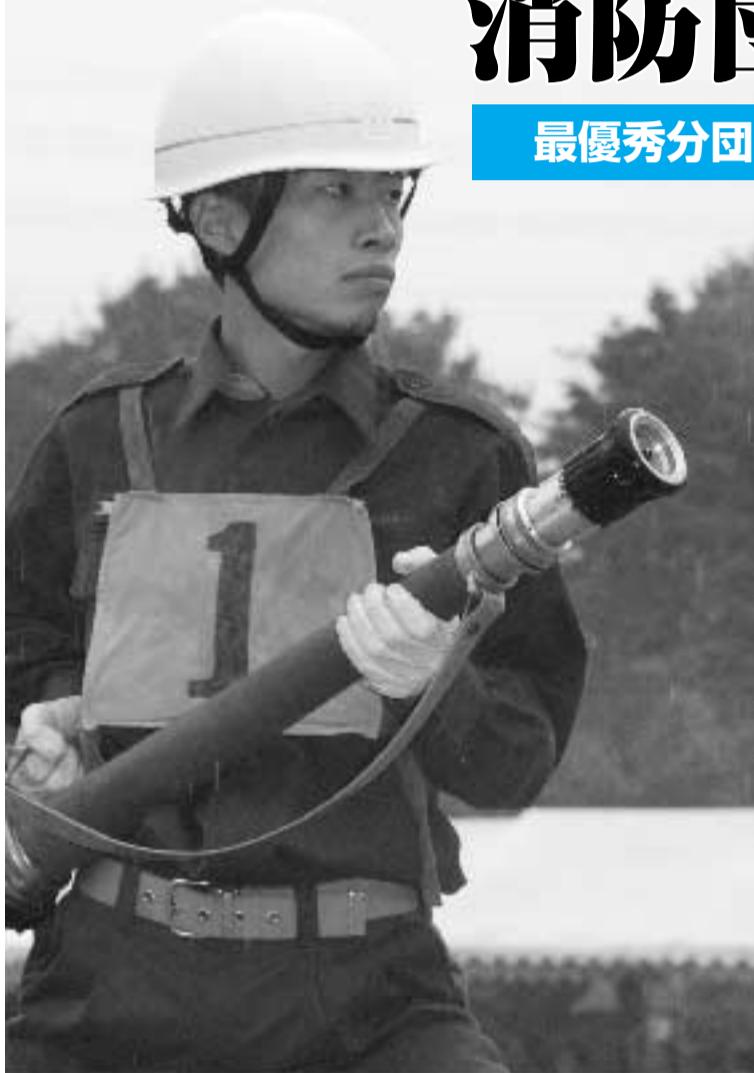
消防ポンプ車操法は、5人が1組となり、消防ホースの延長やポンプ車の操作などの迅速さ、正確さを競うものです。

選手たちは、雨でぬかるんだグラウンドに苦労しながらも、指揮者の「乗車」「第2線延長始め」などの号令に従い、きびきびとした動作で標的に向かって素早くホースを延ばしました。

審査の結果、最優秀分団には第5分団(上植野町)が、優秀分団には第2分団(寺戸町)がそれぞれ選ばれました。

雨の中の激戦を制し、最優秀分団に選ばれた第5分団の森山佳之分団長は「予定されていた訓練日以外にも自主的に訓練を重ねてきました。最優秀分団に恥じないよう、今後も消防技術の向上に努めていきたい」と語ってくれました。

今回出場した選手の中から、来年夏、丹波自然運動公園で開かれる「京都府消防操法大会」の代表選手が選ばれます。



▲筒先を構え、真剣な眼差しで火点(標的)を見つめる



▲最優秀分団 第5分団(上植野町)



▲優秀分団 第2分団(寺戸町)

## 消防団ってどんな組織



▲年末特別警戒の様子

消防団は「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護の精神のもと、民間の有志の方々によって組織されています。団員のみなさんは、普段は各自の職業に就きながら、必要に応じ消防活動に従事されています。

向日市消防団は中野弘和団長以下150人で組織され、それぞれの町ごとに分団が配置されています。

火災などが発生したときは、消火活動や避難誘導などを行います。また災害のないときは、定期的に訓練や機器の点検などを行い、万一の災害に備えています。

今回の消防ポンプ車操法に向けては、9月初旬から約2か月間にわたり、仕事を終えた夜に集まって訓練を行い、技術を磨いてきました。

### 消防団関連ホームページ

- 向日市ホームページ「消防団とは」■  
向日市ホームページのトップページから「くらしの安心・安全」、  
「消防団とは」とお進みください。
- 総務省消防庁「消防団のホームページ」■  
<http://www.fdma.go.jp/syobodan/index.html>

消防団についてのお問い合わせ

乙訓消防組合向日消防署 ☎934-0119

## 安心・安全の街づくりシンボルキャラクターが決定 最優秀賞に片野田さん、優秀賞に大林さん

向日市生活安全推進協議会が募集した「安心・安全の街づくりシンボルキャラクター」が決まりました。

応募総数40点の中から最優秀賞に選ばれたのは、片野田ゆかりさん(上植野町)の作品「たけころ」で、向日市民の木である竹と市特産のたけのこをデザインしたものです。

また、優秀賞には大林修さん(寺戸町)の「バンブー」が選ばれています。

選ばれた作品は、同協議会が安心・安全について、広報を行う際に活用します。

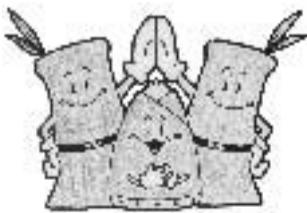
●表彰式/11月19日午後0時20分～、向日市まつりステージ

◎向日市生活安全推進協議会事務局・環境政策課(内線226)

### 最優秀賞

#### 「たけころ」

【作品について】「たけのこ」と「心」を合わせました。明るく安全な向日市を願いながら描きました。



### 優秀賞

#### 「バンブー」

【作品について】市特産「たけのこ」にあやかり「生活環境を良くしていきたい」という思いが込められています。



# 市民の皆様が利用する施設については安全 公共施設でアスベストの実態を調査しました

アスベスト(石綿)\*による健康被害が大きな問題となっていることから、市では学校施設をはじめとする公共施設について、実態調査を行いました。その結果、市民の皆様が利用する施設については安全であることが分かりました。

調査は、昭和31年から平成8年に建てられた51の施設を対象に行いました。

コミセン、市民会館の室内や、保育所、学校の教室など、市民の皆様が利用されている施設については、「石綿障害予防規則」で規制されている石綿含有率1%以下でした。

一般の方が立ち入れない施設で、基準値を超える施設が2か所ありましたが、早い時期に除去などの対策工事を進めていく予定です。

また、JR操車場とキリンビール京都工場跡地周辺の大気汚染調査を9月に行いましたが、いずれも基準値を大幅に下回っていました。

## 実態調査を行った施設

施設用途	施設名	施設数
学校施設	小・中学校、留守家庭児童会	15
福祉施設	保育所、福祉会館、保健センター 老人福祉センター桜の径	8
集会所施設	市民会館、公民館、コミセン	12
その他	市庁舎、市民体育館、市民温水プール 市営住宅、図書館、天文館 文化財調査事務所、消防分団車庫	16

## 石綿含有率1%を超えた施設

- 第5向陽小敷地内「機械棟」…吹付け石綿含有率6.3%  
平成元年9月に閉鎖しており、現在未使用
- 市民会館「地下機械室」…吹付け石綿含有率9.5%  
関係者以外立ち入り禁止となっています。吹付け石綿の飛散状況は0.2本/リットルと、大気汚染防止法で規制されている10本/リットルを大幅に下回っています。



## まちの話題

### 恒例の菊花展が行われました 市民が育てた自慢の菊が一室に



▲色鮮やかな菊が目を楽しませる

11月2日から8日まで、秋を彩る恒例の菊花展が市役所玄関前広場で行われました。

出展された菊は、市内の農家や愛好家が丹精こめて育てたもので、市特産のけんがい菊をはじめ立菊など34人から70点が出展されました。

1日の審査会では、市長賞に稲本正治さん(寺戸町)の立菊が、市議会議長賞に山本良三さん(物集女町)の立菊がそれぞれ選ばれました。

通りがかった人たちは、立派に育てられた色とりどりの菊に見入っていました。

### 市民音楽祭で9団体が発表 美しい歌声が聴衆の心に響く



▲美しいハーモニーが聴衆を魅了

11月5日、市民会館で市民音楽祭が行われました。

参加した9つの合唱グループは、幅広い年齢層で構成されており、日頃の練習の成果を十分に発揮していました。

会場には、家族や友人をはじめ約400人もの人たちが足を運び、音楽の秋を楽しみました。

## アスベストについての相談は

- 健康についての相談
  - 京都府乙訓保健所(保健室) ☎933-1153
  - 向日市健康推進課 ☎931-1111 (内線339)
- 建物についての相談
  - 京都府乙訓土木事務所(建築住宅室) ☎931-2478
  - 向日市都市計画課 ☎931-1111 (内線271)
- 日用品などについての相談
  - 京都府消費生活科学センター ☎671-0004
- 環境についての相談
  - 京都府乙訓保健所(環境衛生室) ☎933-1341
  - 向日市環境政策課 ☎931-1111 (内線232)
- 学校施設についての相談
  - 向日市学校教育課 ☎931-1111 (内線353)

土・日曜日・祝日を除く午前8時30分～午後5時15分

## アスベスト特別健診

- 対象/原則として30歳以上の京都府在住の方
- 日時/毎月第1・第3水曜日午前10時30分～11時30分
- 場所/京都府乙訓保健所(上植野町馬立8)
- 健診内容/問診、胸部エックス線撮影
- 申込み/予約制です。電話で乙訓保健所保健室 ☎933-1153へ。

※アスベスト(石綿)とは 天然の繊維状鉱物で、熱、摩擦、酸・アルカリに強いため、昭和30年代から輸入が急増して、建築資材や産業機械など多くの製品に使用されました。しかし、アスベストの繊維を吸い込むと、肺がんや悪性中皮腫などの原因となるため、現在では、一部を除き製造・使用が禁止されています。

# 女と男のいきいきフォーラム

## 講演会「男らしさ、女らしさのゆくえ」

12月17日(土)午後2時～4時  
市民会館(第1会議室)

男と女の二色刷りの世界から、  
自分らしさを軽やかに考え  
自分を見つめる多色刷りの世界へ

定員/100人(定員になり次第締切り)

講師/伊藤 公雄さん(京都大学大学院教授)

保育/1歳以上の幼児、定員8人。12月9日(金)までに政策協働課(内線280)へお申込みください。

## 講師プロフィール

### 伊藤 公雄さん

京都大学文学部哲学科社会学卒業、京都大学大学院文学研究科博士課程修了

- 主な著書  
『〈男らしさ〉のゆくえ』新曜社  
『「男らしさ」という神話』NHK出版



主催/女と男のいきいきフォーラム実行委員会  
申込み・お問い合わせ/政策協働課(内線280)

## 議会開催予定

11月29日(火)	本会議(提案説明)/議場
12月9日(金)	本会議(一般質問)/議場
12日(月)	本会議(一般質問)/議場
13日(火)	本会議(予備日)
14日(水)	厚生常任委員会/大会議室
15日(木)	建設環境常任委員会/大会議室
16日(金)	文教常任委員会/大会議室
19日(月)	総務常任委員会/大会議室
22日(木)	本会議(委員長報告・討論・採決)/議場

※時間はいずれも午前10時からです。  
※どなたでも傍聴することができます。  
※一般質問の事項は、公共施設などで事前に公表します。

☎議会事務局庶務係(内線318)

# タウンミーティング



■日時/10月11日(火)午後7時30分～9時

■場所/市役所 大会議室

■参加者/まちづくり市民の会9人、市長、助役、市民生活部長、政策企画室長ほか

■テーマ/巡回バス、7.67健康号について

始めに、まちづくり市民の会の皆様から、市民の健康増進を図るため、市内を北と南に分け、それらの各地点から市民体育館、ゆめパレアむこう、市民温水プールの3施設に「7.67健康号」を走らせる提案がありました。

## 「共有」「共鳴」そして「共生」のまちづくり

続いて、久嶋市長が、この提案に対して「ここまで研究されたことに敬意を表します。行政も調査研究をしており、今日のご提案を参考にさせていただき、さらに研究していきたい」と答えました。

その後、意見交換となり、「運行方法について、私たちの提案と行政の考えと異なっているのですか」の質問に、「まちづくり市民の会の皆様は、市民体育館など3施設のゾーンの往復を考えておられますが、行政は、市役所や駅など広域的な運行も視野に入れています」と答えました。

また、「今は車の運転ができ、これらの施設まで自力で行けるが、年を取ると行けないと思うので、早くこれらの施設にバスで行けるようにしてほしい」との質問には「市民の皆様からより多くの声をお聞きし、7.67健康号のご提案も含め行政として考えていかなければなりません」と答えました。

その他、「この計画は実験的なものなので、早くバスを走らせ、試行錯誤しながら、拡大していけばいい」「外国においても長年、路面電車を走らせる研究をされているが、今でも走っていない。だから向日市が巡回バスの運行について、決断が決して遅いとは思わない」「巡回バスについて、少しでも予算をつけていただきたい」などの意見が寄せられました。

# くらしの情報



## 市の催し・サービス情報

教室・文化・芸能などの催し、福祉・教育などのサービスなど、市からのお知らせを中心に掲載しています。

- 向日市役所への電話でのお問い合わせは、☎931-1111(代表番号)にお掛けください。担当課におつなぎします。
- 向日市役所への(ファックスは☎922-6587、郵便物は〒617-8665 向日市役所)、電子メールはinfo@city.muko.kyoto.jp)にお送りください。
- ※ファックス、郵便物、電子メールには、市役所のどの課(担当課名)へのものかをお書きください。
- 参加費などの記載がないものは無料でご参加いただけます。
- ☎=お問い合わせ、HP=ホームページアドレス

## 催し情報

### 講座・教室

#### 人権研修会「インターネットと人権」

- 日時/12月2日(金)午後2時~3時30分
- 場所/福祉会館
- 講師/田中規久雄さん(大阪大学大学院法学研究科助教授)
- 定員/50人
- 申込み/12月1日(木)までに電話、ファックス(☎931-2555)で教育委員会生涯学習課教育総務係(内線322、324)にお申込みください。
- 保育/11月25日(金)までにお申込みください。

#### まなぼうや講座「マイ風」づくり教室

- 日時/12月4日(日)午前9時~正午
- 場所/第3向陽小学校
- 内容/好きな絵を描き、自分のこま風を作ります。
- 対象/小学生30人(家族参加可)
- 講師/和泉保功さん(京田辺市文化協会)
- 参加費/350円(材料費・保険含む)、家族50円
- 持ち物/筆記用具、ハサミ、工作のり、絵を描く用具
- 申込み/11月15日(火)~29日(火)に向日市生涯学習推進サークル「まなぼうや」事務局・教育委員会生涯学習課教育総務係(内線322、324)へ。定員になり次第締切ります。

### 健康教室

#### 体操「転ばぬ先のリハビリテーション」

- 日時/12月10日(土)午後2時~3時30分
- 場所/向陽苑
- 対象/向日市在住の60歳以上の方20人
- 講師/西本俊治さん(第二京都回生病院理学療法士)
- 申込み/11月15日(火)から、ケアセンター回生在宅介護支援センター(☎934-6887)、向日市社協在宅介護支援センター(☎921-1550)、在宅介護支援センター向陽苑(☎921-4100)のいずれかへ。(土・日曜日を除く)定員になり次第締切ります。

### 文化・芸能

#### 新春狂言

- 日時/平成18年1月7日(土)午後6時30分開演
- 場所/長岡京市中央公民館市民ホール

- 番組/萩大名、盆山、蟹山伏
- 出演/茂山忠三郎、茂山千三郎、茂山良暢ほか
- 入場料/2,000円(全席自由)
- ※11月18日(金)発売開始
- ☎京都府長岡京記念文化事業団☎955-5711

### 図書

#### おはなしひろば



絵本の読み聞かせ、紙しばい、手あそびなどを親子、友だちでお楽しみください。

- 日時/11月26日(土)

- 午前11時~
- 場所/図書館
- ☎図書館☎931-1181

## サービス情報

### 相談

#### 女性の人権ホットライン

女性をめぐる家庭内、職場内の悩みごと、近隣間のもめごと、セクシャル・ハラスメント、ストーカー行為などについて、女性の人権擁護委員が秘密厳守で電話による相談に応じます。

- 日時/11月20日(日)・21日(月)・22日(火)午前10時~午後5時
- 相談所/京都地方法務局人権擁護課☎231-2014、231-2181、231-2185

### 福祉

#### くらしの資金貸付け

疾病や失業により、一時的にお金のやりくりに困ったり、緊急に資金を必要とする方のために、くらしの資金の相談を受け付けます。

- 受付期間/12月1日(木)~15日(木)午前9時~午後4時(土曜日・日曜日を除く)
- 貸付限度額/1世帯あたり10万円以内
- 申込み/予約が必要です。まずは向日市社会福祉協議会地域福祉係(☎932-1961)へお電話ください。

### 予防接種

#### 麻しん・風しんの予防接種が変わります

予防接種法施行令の一部が改正され平成18年4月1日から施行されます。

#### ■主な改正点■

- 麻しん・風しん混合ワクチンによる接種に変わります。(1回の接種で麻しんと風しんの予防接種ができます)
- 対象年齢が変わります。【第1期】1歳から2歳未満、【第2期】小学校入学前1年間(年長児)で1期で麻しん・風しん混合ワクチンを接種した方が対象

#### ■1歳になっている方は■

- ①まだ麻しん・風しんの予防接種を受けていない方は、できるだけ早く受けてください。どちらかだけ残ったということのないようご注意ください。
- ②お手持ちの麻しん・風しん予診票は記載されている有効期限に関わらず、平成18年4月1日以降使用できなくなります。
- ③転入などで、向日市発行の麻しん・風しんの予防接種予診票がない方は母子健康手帳をお持ちになって、子育て支援課へお越しください。

☎市役所子育て支援課(内線333、338)

### 人材募集

#### 学校給食臨時調理員登録者募集

- 対象/45歳くらいまでの健康な方
- 勤務/小学校給食室(第2向陽小または第4向陽小)での調理作業
- 申込み/市販の履歴書に必要事項を記入し、11月22日(火)までに教育委員会学校教育課(内線341)へお申込みください。

## 市民の情報掲示板



市民の皆様から寄せられた「会員募集」「催し」などの情報を掲載しています。掲載については、秘書広報課(内線240)にお尋ねください。

### 催しなど

#### ギタークラブ「ソレイユ」10周年記念コンサート

- 日時/11月27日(日)午後2時~4時
- 場所/市民会館ホール
- 出演/ソレイユ、セシリア、西京都ギターカルテット、藤井敬吾ほか
- 曲目/「ピアソラ」「リベルタンゴ」ほか
- 主催/ギタークラブ「ソレイユ」
- ☎岩崎さん☎932-2887

#### イトピア文庫主催「フリーマーケット」

- 日時/11月26日(土)午後2時~4時
- 場所/イトピア向日マンション集会室(C棟1階西側) ※徒歩か自転車でお越しください。
- ☎安藤さん☎934-0256

#### 同志社大学マンドリンクラブ定期演奏会

- 日時/11月27日(日)午後6時(午後5時30分

### 開場

- 入場料/500円
- 曲目/「交響的序曲」「ヴェニス」の謝肉祭」ほか
- ☎谷さん☎090-7866-0473

#### 桂川地区のカブスカウトが大集合「カブナルト 忍びの長をめざして」

- 日時/11月20日(日)午前9時~午後2時
- 場所/嵐山東公園
- ※雨天の場合は、27日(日)大蛇が池公園
- ☎木原さん☎931-4807

### 会員などの募集

#### 向日市走遊会

- 「竹の径」を自分のペースで走っています。
- 日時/第1・3日曜日午前7時~
- 集合場所/第6向陽小学校
- ☎岩波さん☎935-0353

#### 毛筆・ペンみどりクラブ

- ご希望に応じて漢字、仮名、実用文、ペンなどの指導が受けられます。
- 日時/月2回(お問い合わせください)
- ☎上林さん☎934-4719、岡井さん☎921-2747

消費生活

新聞契約のトラブル

事例

5日前、新聞の勧誘員が新聞の定期購読を勧めに家に来ました。断ったのですが、6か月後からの契約で構わないのでと頼まれ、断りきれずに2年間の契約をしました。しかし、家族が新聞を変えることには反対しているので解約したい。契約時に洗剤などを受け取っています。どうしたらよいでしょうか。(37歳・主婦)

アドバイス

- 訪問による新聞の購読契約は、特定商取引法により、契約書を受け取った日から8日以内であれば、クーリング・オフで無条件解約ができます。
- クーリング・オフは勧誘員ではなく、新聞販売店宛に、配達記録郵便で通知を出しましょう。また、もらった商品は返しましょう。

ご利用ください。消費生活相談

専門の相談員による相談を行っています。個人で対処しようとせず、相談をご利用ください。  
 ■相談日/毎週水曜日(午前10時~午後4時)、毎週月・金曜日(午後1時~4時)  
 ■相談場所/市民相談室(市役所1階)

土・日曜日の相談は

緊急的な土曜日・日曜日の消費生活電話相談窓口を開設しています。(京都府・京都市の共同事業)  
 土曜日・日曜日・午前10時~午後4時  
 ☎257-9002、電話相談のみ

お問い合わせ 環境政策課市民安全係(内線249、235)

悪質商法にご用心

2005向日市まつり

5万人のふれあい

11月19日(土)・20日(日)

午前10時~午後4時  
(20日は3時まで)

向日町競輪場  
(寺戸町西ノ段5)



子どもたちに人気のキャラクターショー「魔法戦隊マジレンジャー」、向日かぐや太鼓など多彩なステージや、遊びの広場、市民がつくる市民ふれあい広場など、盛りだくさんの内容で開催します。家族お揃いで秋の一日をお過ごしください。

■主な内容■

- 遊びの広場 ○市民ふれあい広場
- 農業コーナー ○商工コーナー
- 相談コーナー
- ステージ(向日かぐや太鼓、なんでもパフォーマンス2005、キャラクターショー)ほか

お問い合わせ

向日市まつり実行委員会事務局  
秘書広報課(内線295)

キャラクターショー

魔法戦隊マジレンジャー

20日(日)

(2回上演)

- ①午前11時50分~
- ②午後1時55分~

©2005テレビ朝日・東映AG・東映



新着図書のご案内

今月の一冊

おばけとしゃかん

デイビッド・メリング作 評論社

ある夜、ボーが魔女のお話をしていると、明かりが消えてあやしい影が。本といっしょに空にとびだし、ついたところは「おばけとしゃかん」。いったいこは、なんなの!?

一般図書

- お墓参りは楽しい 新井満写真・文 朝日新聞社
- あなたの知らない政治の世界 永田町インサイド 日本経済新聞政治部編 日本経済新聞社
- 戦争体験は無力なのか ある政治記者の遺言 石川真澄著 岩波書店
- 使うな、危険! 小若順一著 食品と暮らしの安全基金著 講談社
- じっくり挑戦おとなの愉快団!のブログ入門 インプレス
- 世界の保存食をつくる本 干す、漬ける、煮込む...で旨味を引き出す 地球丸
- 妊娠大百科 竹内正人監修 主婦の友社
- 育児大百科 五十嵐隆監修 主婦の友社
- 離乳食大百科 上田玲子監修 主婦の友社
- 雁と雁の子 父一水上勉との日々 窪島誠一郎著 平凡社
- もっと知りたい日本の季語 小林貴子著 本阿弥書店
- カリフォルニア・ガール T・ジェファーソン・パーカー著 早川書房

児童図書

- デジタルの仕事がしたい 杉山知之編 岩波書店
- 日本の恐竜 ヒサクニヒコ絵・文 ハッピーオウル社
- キッズシェフのためのわくわくクッキング 楠部文文 ポプラ社
- おんじょりけっけ 小林けいこ作 風乃絵 新風舎
- ぼくの家はゴミ屋敷!? 高橋秀雄作 ひろのみずえ絵 新日本出版社
- リトル・ソルジャー バーナード・アシュリー作 ポプラ社
- だんじりまつり はまのゆか作 ポプラ社
- かいじゅう ぼく ジョン・ウォレス作 主婦の友社
- どうぶつたちのオーケストラ イーロー・オーリンズ文 ティボル・ゲルゲイ絵 講談社
- ママのキスは、ね ジャネット・ロウラー文 アリソン・ジェイ絵 BL出版

お問い合わせ 図書館 ☎931-1181

歴史

むこうの城と国衆

その8 寺戸郷の国衆たち

現在の寺戸町は、人口2万2千人余(平成17年10月現在)で、向日市全体の5分の2を占める大きな地区です。江戸時代でも石高1,750石余りで、乙訓地域では久我村に次ぐ大きな村でした。

寺戸での生産活動を支えていたのは、桂川から取水する用水と、地区西部の向日丘陵上にある“ハリコ池”をはじめとするため池という、2系統の水利灌漑です。桂川からの用水は、室町時代には「今井用水」とい

ました。今から670年ほど前の暦応年間(1338~42)に、共同利用する河嶋(現京都市西京区)や上久世(現京都市南区)と3か郷で、今井用水を協力して維持する契約状を取り交わしています。

この契約状に、寺戸郷を代表して署名するのが、地名を名字とする寺戸親智という人物です。寺戸を名乗る人々は室町時代を通じて、寺戸や隣郷下久世で農業経営に携わる人物として登場します。

寺戸の武士として、早くから登場するのは、竹田氏や大島氏です。建武3年(1336)7月、後醍醐天皇による建武の新政に反旗を翻した足利尊氏のもとに、寺戸郷の竹田成忍と大島定覚が、それぞれ一族を率いて馳せ参じています。この功績によって、2人とも尊氏から御家人に任ぜられました。以後、室町時代を通じて、將軍直属の「西岡御被官人(にしのおかごひかんにん)」としての由緒を誇るようになります。前回登場した野田泰忠も、やがて

寺戸の御被官人衆の一員に加わります。このように寺戸では、鶏冠井の鶏冠井氏のような単独のリーダー的存在は見られず、複数の地元武士たちの連合体としての姿が想像できます。向日神社の本殿が、応永29年(1422)に周辺の七郷共同で上棟された時の棟札に、他の郷は1~2名が代表して署名するところ、寺戸のみは10名もの人々が名を連ねています。中原や藤原の姓を記しますが、おそらく彼らの実際の名字は、竹田や大島です。寺戸で現在も盛んな“ネンド”と呼ばれる宮座の組織は8つありますが、その中に「竹田座」や「大島座(はたけざ)」という名前が見られるのは、室町時代の武士連合の名残りかもしれません。ほかに今に残る中世寺戸郷の姿については、引き続き次回にご紹介したいと思います。



寺戸の“ネンド”の一つ、本座の当屋交代の儀式の様子(2005年4月15日撮影)